

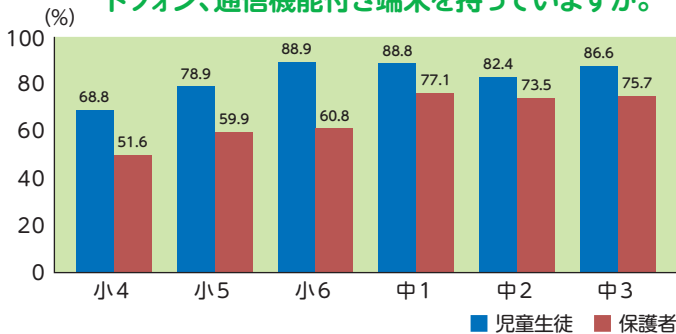


成28年10月、秋田県教育委員会は小学校4年生以上の児童生徒とその保護者を対象に、携帯電話やスマートフォン、インターネットの利用についてアンケート調査を実施しました。美郷町の結果をお知らせしますので、ご覧ください。

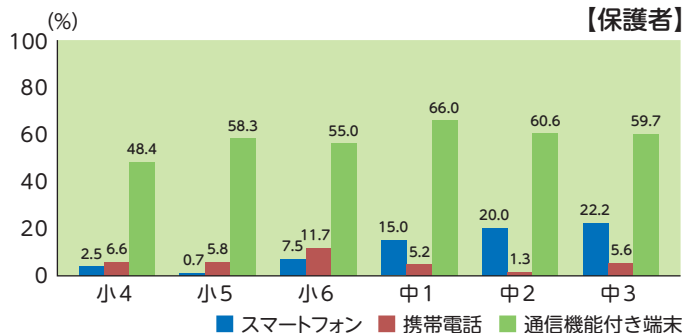
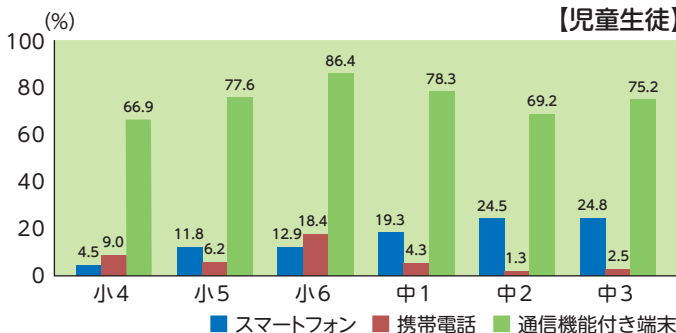
この結果をもとに、機器やインターネットの安全で健全な利用の仕方について、ご家庭でも話し合いをしていただけたらと思います。

※児童生徒と保護者の回答数が同数でないため、「%」で表示しています。また、問2～問6は、問1で「持っている」と答えた人のみ回答しています。

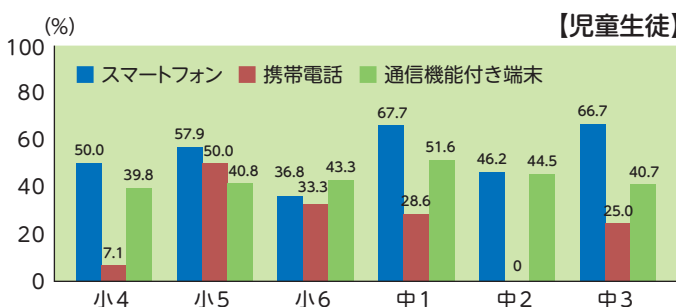
**問1.** あなた(お子さん)は自分専用の携帯電話、スマートフォン、通信機能付き端末を持っていますか。



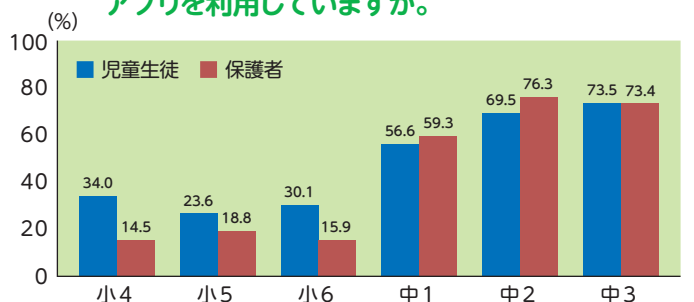
**問2.** あなた(お子さん)は携帯電話、スマートフォン、通信機能付き端末のどれを持っていますか。



**問3.** フィルタリング機能を利用していますか。



**問4.** あなた(お子さん)はライン等のコミュニケーションアプリを利用していますか。

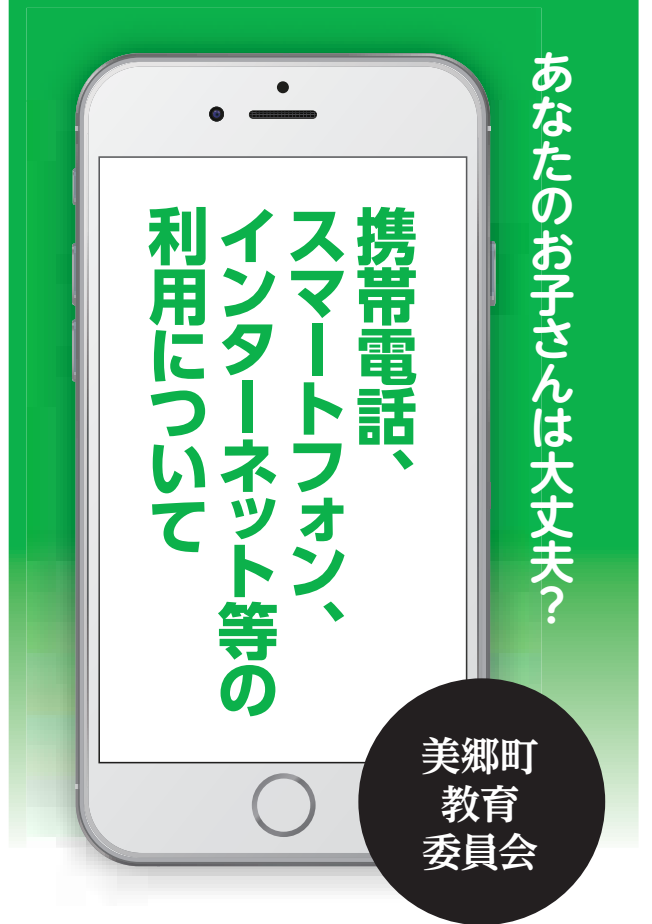


問1から、6年生以上は8割以上の子どもたちがインターネットを利用できる環境にあることがわかります。機器の所持については、お子さんと保護者の皆さんの間に認識のギャップが感じられます。ゲーム機や音楽プレーヤーの中には、通信機能があり、ネットに接続し、SNS等のコミュニケーションアプリを利用できるものもあります。

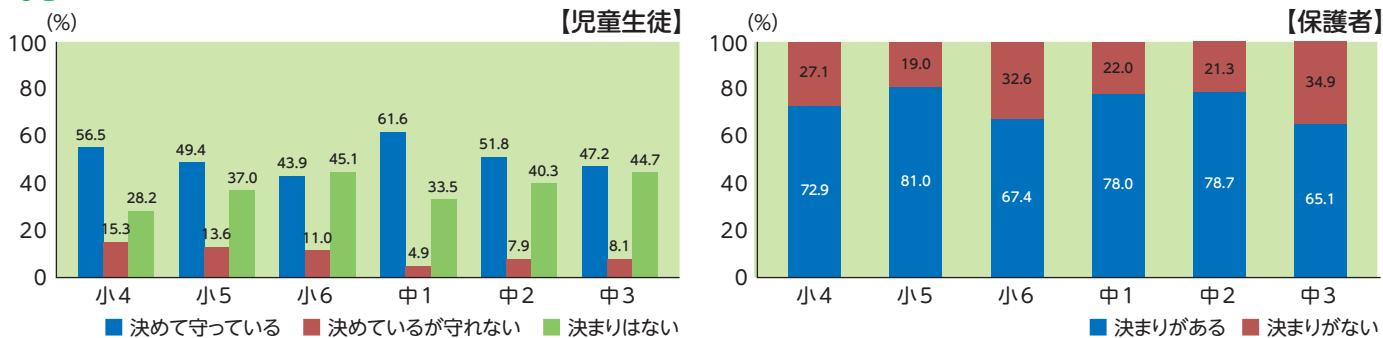
問3の「フィルタリング機能」はネット被害等に遭わ

ないための方策の1つですが、残念ながら本町の利用率は、県平均を下回っています。

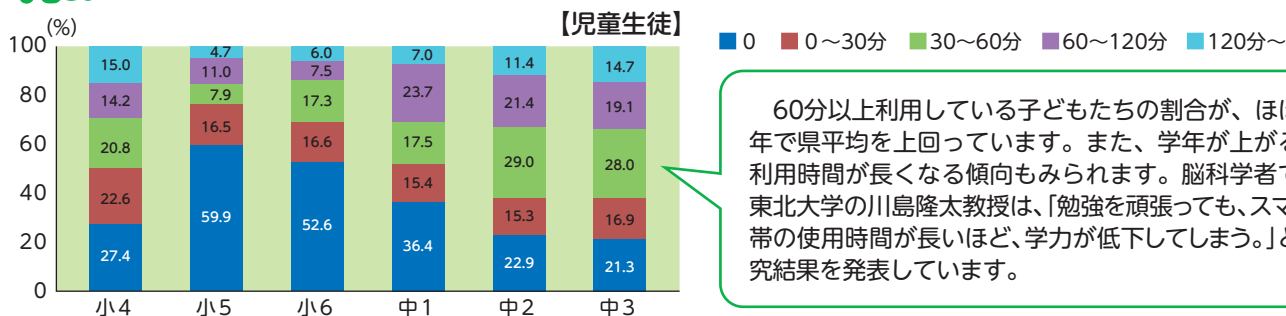
また、問5の機器の使用に関して、「ルールを決めていない」割合は県平均より高くなっています。安全・安心な環境をつくるためにも、お子さんの持っている機器について、通信機能の有無や保護者管理機能の設定等の確認が必要です。家族でよく話し合い、機器利用の「ルールづくり」を進めていただけたらと思います。



### 問5. 通信機器の使い方についてルールを決めていますか。

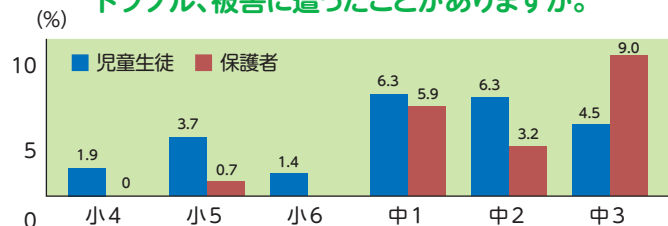


### 問6. あなたのアプリの利用時間(1日平均)はどれくらいですか。 ※アプリ…LINE等のコミュニケーションアプリ



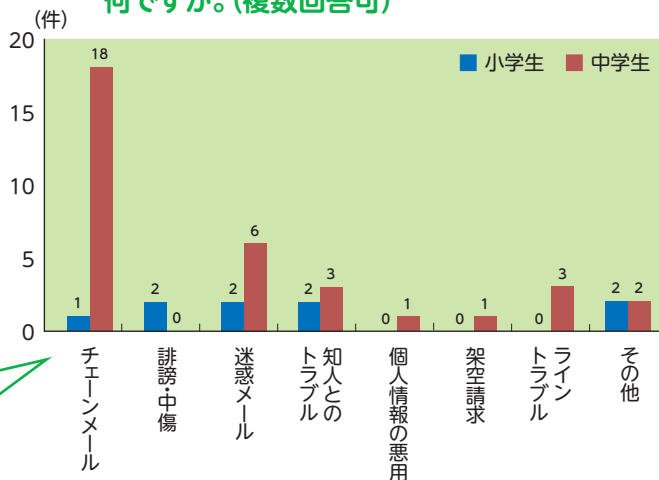
60分以上利用している子どもたちの割合が、ほぼ全学年で県平均を上回っています。また、学年が上がるほど利用時間が長くなる傾向もみられます。脳科学者である東北大学の川島隆太教授は、「勉強を頑張っても、スマホ・携帯の使用時間が長いほど、学力が低下してしまう。」との研究結果を発表しています。

### 問7. あなた(お子さん)はインターネットやメール等のトラブル、被害に遭ったことがありますか。



残念なことに、実際に被害に遭ってしまった児童生徒もいるようです。被害に遭う率は県平均より高くなっています。また、被害に遭ったと答えた子どもたちの約3割が「誰にも相談しなかった。」と回答しています。重大な事態に陥らないようにするためにも、進んで相談する姿勢と相談しやすい環境をつくる必要があります。

### 問8. 「ある」と答えた人は、トラブルや被害の内容は何ですか。(複数回答可)



## 脳科学の視点から

- コンピュータゲームや携帯電話が脳の働きを抑制する。
- 視線を合わせ、相手の顔や表情を見ながら話すほうが、脳は活発に働く。

出典

『ホットケーキで「脳力」が上がる』  
東北大学教授 医学博士  
川島 隆太 著

## パソコン、スマートフォン、音楽プレーヤー、ゲーム機…インターネットを安全に使うために知っておくべきポイント

- 投稿した文章や写真などは世界中に公開されます。
- いったん投稿してしまったらすべてを取り消すことはできません。
- ネット上では匿名性はありません。
- ネットでの発信トラブルがこれからの人生に影響してしまいます。

## インターネットを楽しく安全に使うコツ

- 顔写真や学校名、連絡先などの情報は、自分も友達のものも投稿しない。
- 見知らぬ相手や性別・年齢を信用せず、ネット上で相談、打ち明け話をしない。
- ネットでのやり取りは伝わりにくい。相手の理解を求め過ぎず、余裕をもつ。
- ネット利用でトラブルに遭ったら、隠さず、速やかに周囲の大人に相談する。

～秋田県教育委員会「大人が支える!インターネットセーフティの推進」より～